

## 第20回放射光学会年会・合同シンポジウム学生会員発表賞審査結果

プログラム委員長 田中健一郎 (広島大学大学院理学研究科)

2001年から始まった学生会員発表賞は今回で第7回目となり、実行委員会による開票作業とプログラム委員会、学会行事幹事(組織委員長)への推薦の手続きを経て、受賞者7名が決定されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。今後も益々活躍されて放射光の分野を盛り上げて行く一翼を担われることを期待します。今回の投票と開票の結果はおよそ次の通りです。

1. 本学会学生会員による口頭発表25件及びポスター発表90件が審査対象となりました。
2. 年会・合同シンポジウムの参加登録者全員に投票用紙を配布し、4件以内の投票を依頼しました。最終日に回収した投票用紙は87枚、有効票数199票でした。
3. 昨年度と同様に、放射光学会評議員とプログラム委員は特別審査員として扱い、開票の際に1票に5倍の重みを付けました。その結果、実効的な有効票数は355票でした。
4. 口頭発表の平均得票数はポスター発表の平均得票数の約2倍でした。

口頭発表とポスター発表は、発表形式が異なり、同じ土俵では評価できないため、プログラム委員会では受賞候補者の選出にあたり、上位10位(口頭6名、ポスター4名)までの得票状況を開示して意見の集約を諮りました。その結果、口頭発表の上位4名とポスター発表の上位3名を候補者として推薦しました。今年の年会・合同シンポジウムでは、発表申込みの時点で口頭発表枠(80件)を大幅に超える希望(約120件)がありました。そのためプログラム委員会では、研究の完成度や分野のバランスを考慮して1/3の方々にポスター発表に回っていただきました。それでも学生会員による口頭発表が25件残ったことはそれだけで表彰に値するものと考えています。このことは口頭発表の平均得票数がポスター発表の平均得票数を大きく上回った結果にも表れており、今回は口頭発表からの候補者を1名増して4名としました。

今回の投票では昨年と同じ方式を踏襲しましたが、向上が見られるものの投票数がまだまだ少ない(参加者の約6人に1人)点や学生会員の発表であることの周知方法、特別審査員の1票の重み(現行5倍に対して3倍程度が妥当か)など学生発表賞の価値を高めてゆくための改良の余地が残されています。また、会員以外の学生発表の中にも優れた発表がありますので、発表申込みの時点で入会を促す有効な仕組みを考える必要があります。

### 学生会員発表賞受賞者(順不同)

受賞者: 小山貴久氏(口頭発表番号 2D003)

題目: 硬X線顕微干涉計による高感度・高分解能位相イメージング

講演者: ○小山貴久, 辻卓也, 吉田圭佑, 高野秀和, 津坂佳幸, 籠島靖

所属: 兵庫県立大院物質理

受賞のコメント:

多くの方に本研究を評価して頂き、学生会員発表賞を受賞できたことを、大変嬉しく、光栄に思います。ご指導を受けました先生方や、一緒に研究を取り組んできました仲間のおかげと深く感謝しております。この賞を励みとして、今後も新しい研究に取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。



受賞者: 篠原祐也氏(口頭発表番号 3C002)

題目: X線光子相関法によるゴム中フィラーのダイナミクスの観察

講演者: ○篠原祐也<sup>1</sup>, 岸本浩通<sup>2</sup>, 前島健人<sup>1</sup>, 西川尚志<sup>1</sup>, 雨宮慶幸<sup>1</sup>

所属: <sup>1</sup>東大院新領域, <sup>2</sup>SRI 研究開発棟

受賞のコメント:

今回このような賞を再び頂けたことを光栄に思います。X線光子相関法はその有用性にも関わらず日本では実施例が少ないので、今後、応用研究はもちろんのこと本手法自体の発展にも努力したいと思います。常日頃からわがままを聞いて下さる雨宮先生を始めとした諸先生方、共同研究者の皆様、研究を進めてくれた後輩に感謝いたします。



受賞者：谷内敏之氏（口頭発表番号 3F003）

題目：光電子顕微鏡による  $\text{La}_{0.6}\text{Sr}_{0.4}\text{MnO}_3$  ナノ構造の磁区構造直接観察

講演者：○谷内敏之<sup>1</sup>，安原隆太郎<sup>1</sup>，久保田正人<sup>2</sup>，組頭広志<sup>1,3</sup>，岡崎宏之<sup>4</sup>，脇田高徳<sup>3,4</sup>，  
横谷尚陸<sup>3,4</sup>，小野寛太<sup>2,3</sup>，尾嶋正治<sup>1,3</sup>，Mikk Lippmaa<sup>5</sup>，川崎雅司<sup>3,6</sup>，鯉沼秀臣<sup>3,7</sup>

所属：<sup>1</sup>東大工，<sup>2</sup>高工研，<sup>3</sup>JST-CREST，<sup>4</sup>岡山大理，<sup>5</sup>東大物性研，<sup>6</sup>東北大金研，  
<sup>7</sup>物材機構

受賞のコメント：

本研究を多くの方々に評価していただき大変光栄に思います。また，研究を行うにあたりご指導いただいた先生方や共同研究者の皆様に御礼を申し上げます。研究者の道を志し，将来放射光の発展に貢献してまいりたいと思います。



受賞者：矢野正雄氏（口頭発表番号 3F004）

題目：軟 X 線 ARPES による三次元フェルミ面の研究

講演者：○矢野正雄<sup>1</sup>，関山 明<sup>1</sup>，藤原秀紀<sup>1</sup>，税田哲朗<sup>1</sup>，天野陽介<sup>1</sup>，今田 真<sup>1</sup>，  
室隆桂之<sup>2</sup>，大貫惇陸<sup>3</sup>，菅 滋正<sup>1</sup>

所属：<sup>1</sup>阪大基礎工，<sup>2</sup>JASRIB，<sup>3</sup>阪大理

受賞のコメント：

今回，学生会員発表賞を受賞できたことを大変榮譽に感じております。受賞にあたって，これまで御指導を頂いた先生方・共同研究者の皆様にご心からお礼を申し上げます。今後とも軟 X 線 ARPES の分野において世界に先駆けた研究を行うため，積極的に研究活動を行ってまいります。



受賞者：片岸恵子氏（ポスター発表番号14P106）

題目：走査型蛍光 X 線顕微鏡を用いた細胞内元素の高感度観察

講演者：○片岸恵子<sup>1</sup>，松山智至<sup>1</sup>，三村秀和<sup>1</sup>，湯本博勝<sup>1</sup>，佐野泰久<sup>1</sup>，西野吉則<sup>2</sup>，  
玉作賢治<sup>2</sup>，矢橋牧名<sup>3</sup>，石川哲也<sup>2,3</sup>，山内和人<sup>1</sup>

所属：<sup>1</sup>阪大院工，<sup>2</sup>理研，<sup>3</sup>JASRI

受賞のコメント：

この度，学生会員発表賞に選ばれたことを大変光栄に思います。今回の受賞は，懇切丁寧に指導して下さった先生や先輩方，共同研究者の方々，SPring-8 のスタッフの方々，協力してくれた研究室の仲間のおかげであり，御礼を申し上げます。この賞を励みに，今後一層努力して参ります。



受賞者：豊田智史氏（ポスター発表番号14P027）

題目：角度分解光電子分光によるゲートスタック構造の化学結合状態識別深さ方向分布の評価

講演者：○豊田智史<sup>1</sup>，岡林 潤<sup>1</sup>，尾嶋正治<sup>1,2</sup>，劉国林<sup>3</sup>，劉紫園<sup>3</sup>，池田和人<sup>3</sup>，白田宏治<sup>3</sup>

所属：<sup>1</sup>東大院工，<sup>2</sup>JST-CREST，<sup>3</sup>STARC

受賞のコメント：

一昨年のポスター賞に続き，学生会員発表賞を頂けたことを大変嬉しく思います。ご指導を頂きました先生方，共同研究者の方々に重ねてお礼を申し上げます。この受賞を励みに今後も研究に精進していきたいと思っております。ありがとうございました。



受賞者：湯本博勝氏（ポスター発表番号13P037）

題 目：硬 X 線集光ミラーのための波面誤差評価法の開発

講演者：○湯本博勝<sup>1,2</sup>，三村秀和<sup>1</sup>，松山智至<sup>1</sup>，半田宗一郎<sup>1</sup>，木村隆志<sup>1</sup>，井阪貴男<sup>1</sup>，  
佐野泰久<sup>1</sup>，西野吉則<sup>3</sup>，玉作賢治<sup>3</sup>，矢橋牧名<sup>2</sup>，石川哲也<sup>2,3</sup>，山内和人<sup>1</sup>

所 属：<sup>1</sup>阪大院工，<sup>2</sup>JASRI，<sup>3</sup>理研

受賞のコメント：

学生会員発表賞に選ばれましたことを大変光栄に感じております。これはひとえに日頃ご指導並びに有益なご助言を頂きました先生方と共同研究者の方々のおかげであり，深く感謝の意を表したいと思います。これを励みに社会に貢献できる研究者を目指し，現在の研究テーマの進展により一層努めて参りたいと思います。

